

損害保険トータルプランナー新規認定取得記念式典を開催

～特別記念セミナー&交流会を開催～

一般社団法人日本損害保険協会(会長:新納 啓介)は、12月13日(水)に「損害保険トータルプランナー新規認定取得記念式典」をオンライン形式で開催しました。

本イベントは、損害保険大学課程コンサルティングコース試験に合格し、2022年9月から2023年8月までに新規認定取得した損害保険トータルプランナーを祝う「記念式典」のほか、認定取得者の今後の業務に役立てていただくための「特別記念セミナー」「交流会」をオンライン形式で開催したものです。当日は、全国から322名(新規認定取得者92名、既存認定取得者230名)の損害保険トータルプランナーが参加しました。

はじめに、新納協会長から主催者挨拶を行いました。今年度、当協会で重点的に取り組んでいる「自然災害対応に向けた啓発」や「リスク情報をより必要とする方々に向けた啓発」について、「損害保険トータルプランナーである皆様をはじめとした損害保険募集人の方々との連携がこれらの啓発の要であり、損害保険募集人のフロントランナーである皆様とともに、引き続き幅広くお客様をサポートしてまいりたい」とコメントするとともに、「最高レベルの知識・スキルを有するトップレベルの損害保険募集人として、大いに活躍されることを期待しています」とメッセージを送りました。

続いて、金融庁監督局の三浦 知宏 保険課長から、「豊富な知識と総合的な顧客対応能力を存分に発揮し、日本の損害保険業を支える存在として活躍されることを期待しております」と祝辞がありました。

特別記念セミナーでは、名古屋大学名誉教授の福和 伸夫 先生から「関東大震災から100年。今だから知っておきたいこと。～巨大地震への備えと心構え～」というテーマで、防災・減災の観点からご講演をいただきました。講演の最後には、「我が国の防災・減災対策には多くの課題がある。あらゆる国民が自助努力し、互いに助け合える社会にするために、各地で地震保険をはじめとした損害保険の募集活動に従事されている代理店・募集人による率先した啓発活動をお願いしたい」というメッセージをいただきました。

最後に、メタバース(仮想空間)を利用した、新規認定取得者による交流会を行いました。メタバースを用いた損害保険トータルプランナー同士の交流は初めての実施となりましたが、設定された各テーマに沿って、所属代理店の取組み状況などについて活発な意見交換が行われました。

本イベントを通して、損害保険トータルプランナー新規認定取得者の皆さまが「募集人のリーダー的存在」としての自覚を持ち、より一層ご活躍されることを祈念しております。

今後も、当協会は、募集品質の向上に向けて取り組んで参ります。

※本イベントのダイジェスト動画を損保協会公式YouTubeチャンネルに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

(https://youtu.be/RuzCL_jykTk8)



新納協会長による主催者挨拶



金融庁 三浦保険課長による祝辞



福和先生による特別記念セミナー



交流会

【参考】「損害保険トータルプランナー」とは

当協会では、損害保険募集人の品質向上を図るため、損害保険大学課程を実施しています。

損害保険大学課程は、損害保険募集人が募集に関する知識・業務のさらなるステップアップを図っていただくことを目的に創設した制度で、「専門コース」と「コンサルティングコース」の2つがあります。

「コンサルティングコース」は、「専門コース」で修得した損害保険に関連する法律・税務等の知識を基に、より実践的な知識や業務スキルを修得することで、保険募集のプロフェッショナルを目指すものです。1年間の教育プログラムを受講・修了のうえで試験に合格し、所定の認定要件を充たした方は、「損害保険トータルプランナー」として認定されます。

また、当協会では、消費者の皆様が、郵便番号や住所から、損害保険トータルプランナーが所属する代理店を探すことができる検索ページを設けています (<https://sonpo-totalplanner-ag.jp/>)。

